



よりよく生きる喜びを

渡辺 和子

【指導事例 1】

1 主 題 「自分の弱さに負けない気高い生き方」〔よりよく生きる喜び〕

2 ねらい

人間には、自分の弱さや醜さを克服する気持ちや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見出そうとする態度を育てる。

3 教材について（教材の生かし方や人物像）

本教材は、渡辺和子が困難に立ち向かいながらもそれを克服しようとする姿や気高く生きることを大切にしてきた姿に触れることを通して、よりよく生きることの喜びを見いだそうとする態度を育てることをねらいとしています

前半では、渡辺和子が学生時代の自分を振り返り、「謙虚で心の温かい人に生まれ変わりたい。」と決意したことや、アルバイトで失敗したこと、修練院で修練長から指導を受けたことなどを通して、自分の失敗を客観的に見つめ、次の機会に生かすことの大切さや、勤労の尊さとその責任の重さについて気付いた姿について触れています。

後半では、36歳の若さで大学の学長になった渡辺和子が、いつも相手を思いやり、素直で正直に生き、自分の「花」を咲かせようと決心し、「愛されるよりも愛することを、理解されるよりも理解することを、そして与えられるよりも与えることに喜びを見出す人になってほしい。」と学生たちに語りかけてきた姿や、大学の学長として礼儀やあいさつを重んじ、自分のよさを発揮して生きていきたいと強く願って生きた姿について触れています。

指導に当たっては、渡辺和子が失敗や困難に直面したときに自分の弱さや醜さに気が付き、一つ一つ克服していく生き方について多面的・多角的に話し合い、よりよく生きようとするということについて深く考えさせることが重要です。

4 展開例—①「和子が直面した困難を理解し、困難を克服しようとする姿を通して、よりよく生きることについて考える展開」

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問 ・予想される子どもの反応	・指導上の留意点（■評価）
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● これまで上手くいかなかったてあきらめてしまったことについて話し合う。 ○ これまで上手くいかなかったてあきらめてしまったことはありませんか。 <ul style="list-style-type: none"> ・努力したつもりだったが、結果につながらなくて、途中で投げ出してしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材「よりよく生きる喜びを」を読み、話し合う。 ○ 和子さんにとって、上手くいかなかったことは何でしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・受験やアルバイトでのミス ・修練院での単調な生活 ○ 上手くいかなかった経験をを通して、和子はどんなことを考えたでしょうか。また、あなたならどう考えるでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・謙虚で心の温かい人に生まれ変わりたい。 ・つまらない仕事も意味のある仕事に変えていく。 ◎ 和子は、自分の弱さや醜さをどのようにして克服したのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・境遇を変えることはできないため、自分の生き方や考え方を考える。 ・他人のアドバイスを素直に聞き入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値について自分ごととして考えることができるように和子の境遇を理解させる。 ・自分の考えたように上手くいかなかった和子の気持ちを想像し、交流を通して、人間理解を深めさせる。 ・和子の困難を克服する姿について多面的・多角的に話し合うことを通して、価値理解や他者理解を深めさせる。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 人間としての生き方について考える。 ○ 自分はどのようにして心の弱さを克服しましたか。または、克服しようとしたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・辛いことがあったけど、我慢してまたがんばろうと気持ちを切り替えた。 ・他人のことをうらやましく思ったけど、自分を信じて競技に集中した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよく生きる喜びについて、自分の人間としての生き方を振り返り、自己理解を深めさせる。 ■ よりよく生きることの大切さについて、自分との関わりで、考えを深めている。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ● 本時の学習を振り返る。 ※友達の考えを聞いて、自分の考えが広がったり深まったりしたことをワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返りながら、自分なりによりよく生きようとする態度が育まれるようにする。

【指導事例 2】

1 主 題 「自分の弱さに負けない気高い生き方」〔よりよく生きる喜び〕

2 ねらい

人間には、自分の弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだそうとする心情を育む。

3 展開例—②「和子の自らの弱さを克服し生きることの喜びを見いだそうとする姿を通して、気高く生きようとする大切さについて考える展開」

4 主な学習活動

(1) 修練院で、単調な仕事ばかりしていた時、和子はどんな気持ちだったでしょうか。

- ・いつも同じ仕事ばかりでつまらない。
- ・なぜ、こんな仕事ばかりしなければならないのだろう。
- ・もっと大切な仕事や意味のある仕事をしたい。

(2) 修練長に言われた一言は、和子の気持ちをどのように変えましたか。

- ・仕事がおもしろくないと嘆く前に、発想を転換するようになった。
- ・つまらない仕事も意味のある仕事に変えていけるようになった。
- ・相手のことを考えられるようになった。

(3) 自分の弱さや醜さをどのようにして和子は克服したのでしょうか。

- ・自分の失敗を振り返ることで自分の弱さや醜さと向き合えるようになった。
- ・境遇を選ぶことはできないが、生き方は選ぶことができると考えた。
- ・考え方を変え、全てのことが意味のあることだと思えるようになった。

□ 活用場面例（道徳科以外での活用事例）

■ 国語科

読むことの、目的に応じて本や文章を読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする学習において、伝記などの読書活動を行う際に、本教材を活用することを通して、読書の分野を広げることができるようにする。

■ 総合的な学習の時間

職業や自己の将来に関する探究課題を設定した学習活動において、学習活動への動機付けを図るため、本教材を活用し、渡辺和子が困難に立ち向かいながらも気高く生きることを大切にしてきたことについて考える活動を通して、自分なりによりよく生きていこうとする意欲が高まるようにする。

■ 特別活動

学級や学校における生活づくりへの参画に関する学習において、本教材を活用し、和子の生き方に触れ、学級や学校における生活をよりよくするためできることについて話し合うことを通して、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を育てることができるようにする。

■ 家庭や地域との連携

学級通信等において、本教材を活用した学習の様子を家庭に伝えるとともに、自分の弱さを克服することの大切さについて話し合ってもらおうよう依頼し、生徒が進んでよりよく生きようとする意欲を高めることができるようにする。